

これまでケーブルからローカルな話題や  
エリア情報などをお届けします

# 世界遺産登録20周年！

～紀伊山地の霊場と参詣道～



今月のコマド里は  
吉野町のご紹介です！

## 紀伊山地の霊場と参詣道とは？

Ⓜ 紀伊山地は、和歌山県、三重県、奈良県にまたがる広大な地域で、多くの寺院や神社が点在し、古くから人々の信仰と巡礼の地として知られています。この地域は、自然と宗教が結びついた霊的な場所として重要視されており、歴史的な参詣道が縦横に広がっています。2004年7月に世界遺産登録された「紀伊山地の霊場と参詣道」は、「吉野・大峯」、「熊野三山」、「高野山」の3つの霊場と「大峯奥駈道」、「熊野参詣道小辺路・中辺路・大辺路・伊勢路」と「高野山町石道」の参詣道で構成されています。

<https://yoshino-kankou.jp/spot/>

🚗 今回は世界遺産登録20周年を記念し吉野町にある世界遺産構成資産をご紹介します！

### 吉野山(史跡名勝)



大峰山脈の北端に位置し、東西を急峻な谷に挟まれた馬の背のような尾根上に、金峯山寺の門前町として発展してきた地域です。役行者の開山以来、修験道の聖地として信仰を集め、源義経と静御前の悲話や南朝の哀史など数多くの歴史の舞台となりました。また、平安時代以降、我が国屈指の桜の名所としても知られています。



### 金峯山寺蔵王堂(国宝)



金峯山寺の本堂である蔵王堂は、国宝であり、世界遺産の認定も受けています。本尊蔵王権現尊像三体のほか、多くの尊像を安置しています。単層入母屋造り裳階付き檜皮葺で、高さ33.9m、桁行25.8m、梁間27.3mの堂々とした威容を誇っています。金峯山寺は、寺伝によると白鳳年間に役行者が創建したといわれ、現在は金峯山修験本宗の総本山で、修験道全体の根本道場と云われています。現在の蔵王堂は天正20(1592)年の再建です。68本の柱で支えられていますが、中には、ツツジや梨の木の柱もあります。



### 金峯山寺銅の鳥居(重要文化財)



黒門からの急坂を登りつめたところにあります。高さ約7.5m、柱の周囲約3.3m、すべて銅製。1348(正平3)年に高師直の兵火で焼失したあと、室町時代に再建されたものです。正しくは発心門。山上ヶ岳までの間に発心・修行・等覚・妙覚の四門があり、これが最初の門です。行者たちはここから向こうを聖なる地として、ひとつ門をくぐるごとに俗界を離れて修行する決心を強めていきました。

### 金峯山寺仁王門(国宝)



仁王門は、重層入母屋造り本瓦葺きで、3間1戸の楼門です。この門は、金峯山寺の北門で、棟の高さは20.3m、桁行12.3m、梁間6.9mの、我が国屈指の山門といわれています。現在の建物は、上層が康正年間(1455～1457)、下層が南北朝時代の建造と考えられています。身の丈5.3mの仁王像には、大仏師康成によって造られた墨書名があります。

※現在修復中。令和10年度完成予定。



# 秋には世界遺産登録20周年記念行事がもりだくさん!

## 金峯神社



吉野山の奥千本にひっそりと立つ古社で、金峯山(吉野山から大峯山上ヶ岳一帯)の地主の神 金山毘古神(かなやまひこのかみ)を祀る。昔からこの神を生物の枯死を防ぐ神として崇敬されたほか、金峯総領の地主神として金鉢の山を司る黄金の神として祀られてきました。中世以降修験道の行場として知られています。拝殿は、旧吉野神宮にあった拝殿を移築されました。社殿を少し下った所に、追っ手に追われた源義経が身を隠したという義経隠れ塔が残っており、追っ手に囲まれた際、屋根を蹴破って逃げたことから蹴抜けの塔ともいわれています。



## 吉水神社書院(重要文化財)



元は金峯山寺の塔頭で吉水院と称していましたが、明治初年の廃仏毀釈で神社に改められました。延元元年(1336)年、京都花山院の幽閉先から脱出された後醍醐天皇が吉野に潜幸されて、先ずお入りになり行在所とされたのが吉水院でした。

また、源義経がしばし潜居したり、太閤秀吉の大花見の時の本陣となったのも吉水院でした。書院は我が国の住宅建築で最も古いものといわれて、重要文化財に指定されています。

高城山展望台



吉野水分神社  
花矢倉展望台



## 吉野水分神社社殿(重要文化財)



水の分配を司る天水分大神(あめのみくまりのおおかみ)を主祭神に玉依姫命(たまよりひめのみこと)(神像は国宝)以下6柱の神を祀る世界遺産の神社です。子守宮(こりのみや)ともいい、子授け・安産・子どもの守護神として篤く信仰されています。豊臣秀吉が子授け祈願をし、その子秀頼を授かったことから、現在の社殿はその申し子である秀頼が慶長9年(1604)年に再建したもので、桃山様式建築の三殿一棟の本殿・幣殿・拝殿・楼門・回廊は国の重要文化財に指定された美しい建築です。

## 大峯奥駈道(史跡)

紀伊半島の脊梁大峰山脈の稜線伝いに続く修験道の修行の道です。北は吉野から南は熊野まで約170kmにも及ぶこの道には、75箇所の靡きと呼ばれる拝所や行場が設けられています。修験者(山伏)にとって、大峯奥駈道は曼荼羅の世界であり、最極の修行道場とされているのです。史跡大峯奥駈道には金峯神社や玉置神社の境内地も含まれています。



### ◆◆◆編集後記◆◆◆

今月は吉野町をご紹介します。吉野山は桜や紅葉が有名で、毎年たくさんの観光客が訪れます。この6月には七曲坂のアジサイが見頃をむかえ、7月7日には「蛙飛び」があります。この行事は蓮の花を蔵王権現に供える蓮華会の行事で、白河天皇の時代、不心得な男が山伏を侮辱したので鷲の窟にさらされ、その後、男は後悔したので、金峯山寺の高僧が男を蛙の姿にして救い出したという伝説があり大きな蛙が外陣に現れ受戒導師の前に出て、法力によって人間に立ち返る法要が実演されるそうです。皆さんもこの機会に、ぜひ吉野町に訪れてみてはいかがでしょうか♪

ガイド誌担当: Y



《お問い合わせ先》  
吉野ビクターズビューロー  
【住所】吉野町上市77-1  
【TEL】0746-34-2522

HPはこちら↓

